

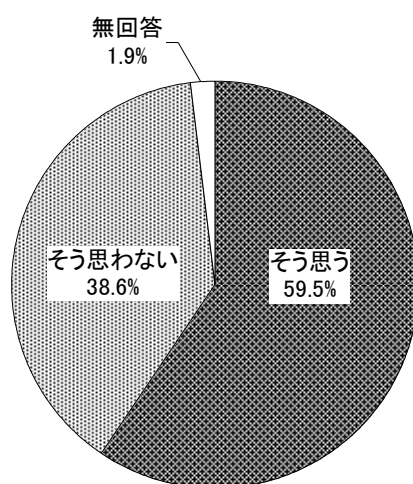
## 7 在宅医療について

### (1) 自宅療養への考え

問24 あなたが病気やけがで長期の療養が必要になり、通院が困難になった場合、自宅で療養したいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

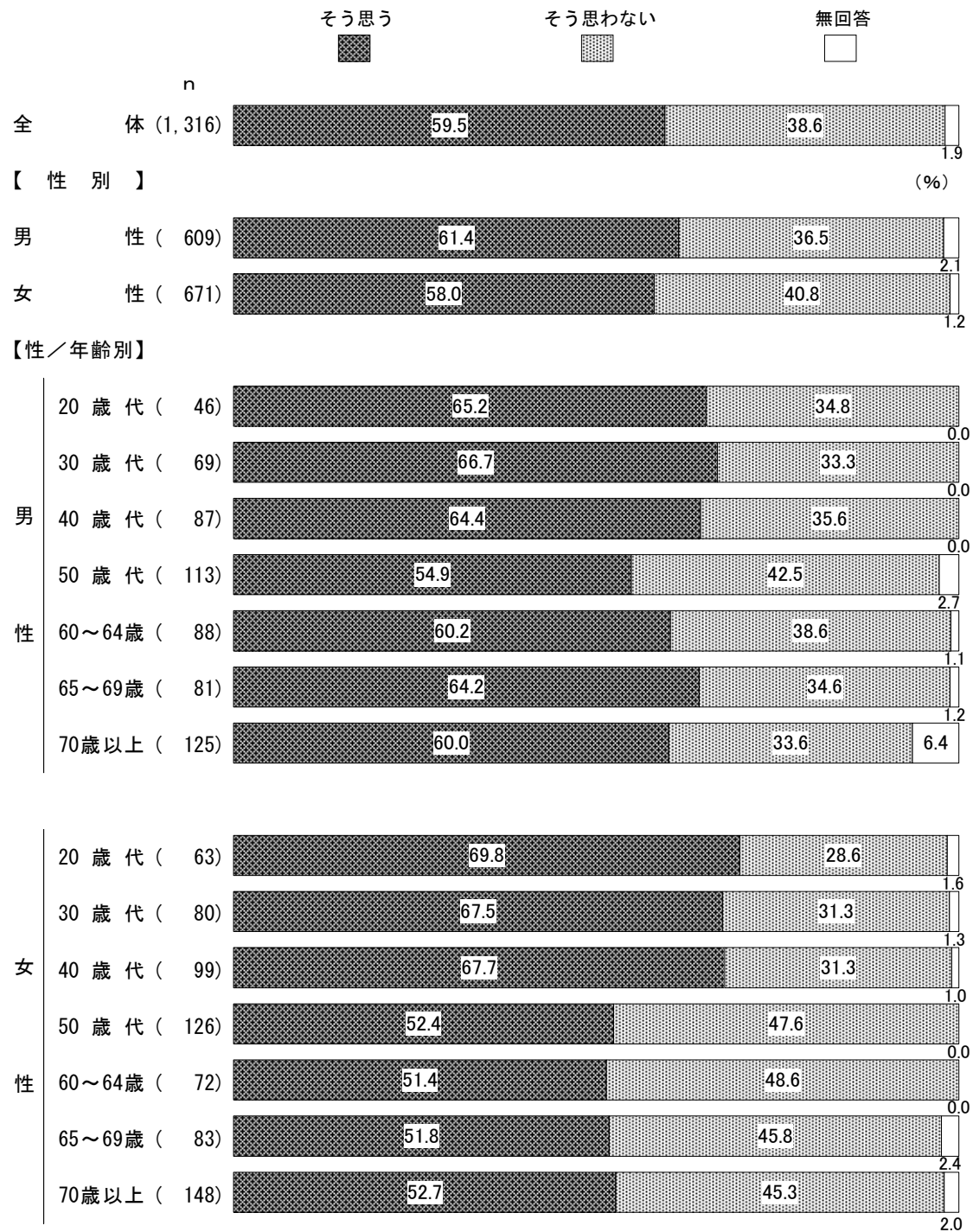
[n=1,316]

1	そう思う	59.5%
2	そう思わない	38.6
	(無回答)	1.9



全体で見ると、「そう思う」(59.5%)は6割、「そう思わない」(38.6%)は4割近くとなっている。

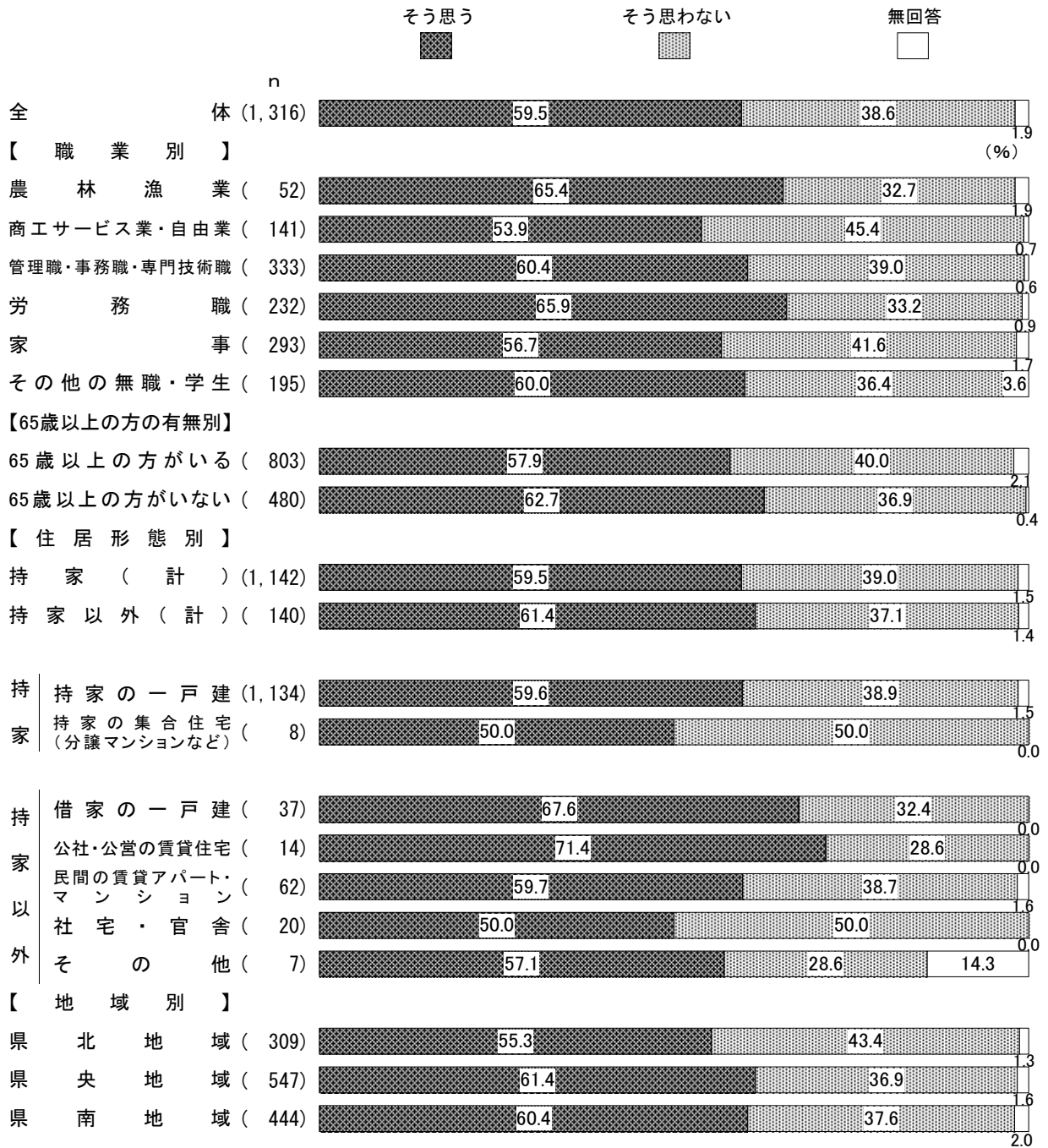
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「思う」では〈男性〉(61.4%)が〈女性〉(58.0%)より3.4ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「思う」では〈女性20歳代〉が69.8%と高くなっている。「思わない」では〈女性60～64歳〉が48.6%、〈女性50歳代〉が47.6%と高くなっている。

[職業別・65歳以上の方の有無別・住居形態別・地域別]



職業別でみると、「そう思う」では〈労務職〉が65.9%、〈農林漁業〉が65.4%と高くなっている。

65歳以上の方の有無別でみると、「そう思う」では〈65歳以上の方がいない〉(62.7%)が〈65歳以上の方がいる〉(57.9%)より4.8ポイント高くなっている。

住居形態別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

地域別でみると、「そう思わない」では〈県北地域〉が43.4%と高くなっている。

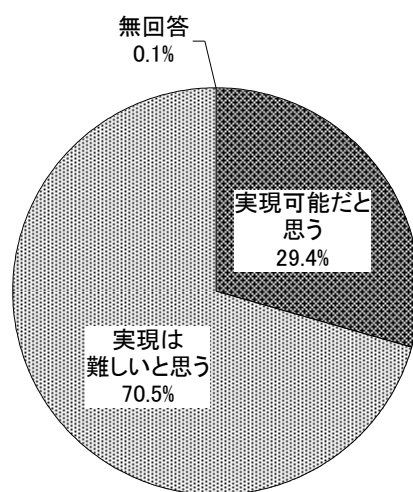
### (1-1) 自宅療養実現に対する考え

(問24で選択肢「そう思う」を選んだ方のみお答えください)

問24-1 自宅での療養は実現可能だと思いますか。次の中から1つ選んでください。

[n=783]

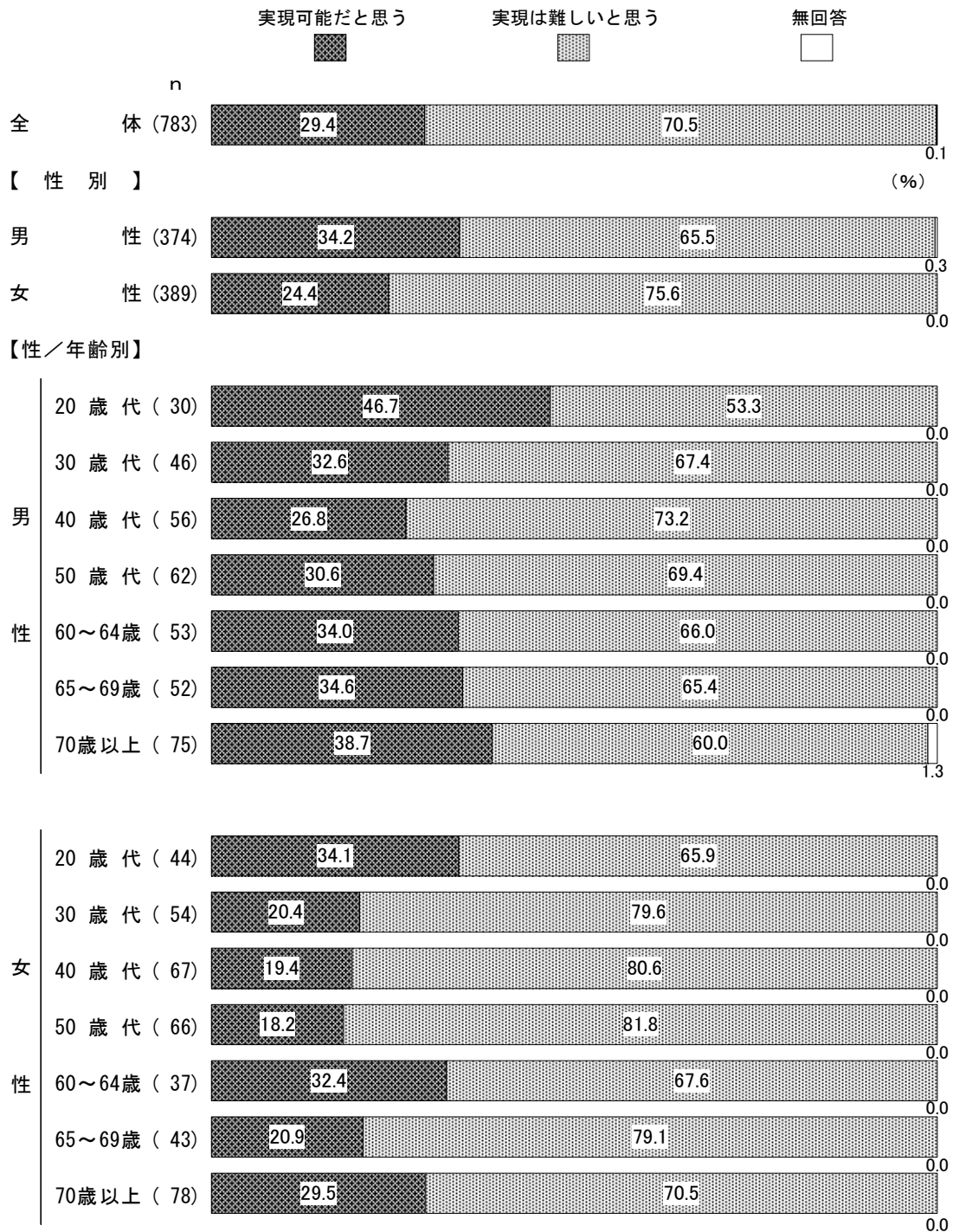
1 実現可能だと思う	29.4%
2 実現は難しいと思う	70.5
(無回答)	0.1



(n=783)

全体でみると、「実現可能だと思う」(29.4%) はほぼ3割、「実現は難しいと思う」(70.5%) はほぼ7割となっている。

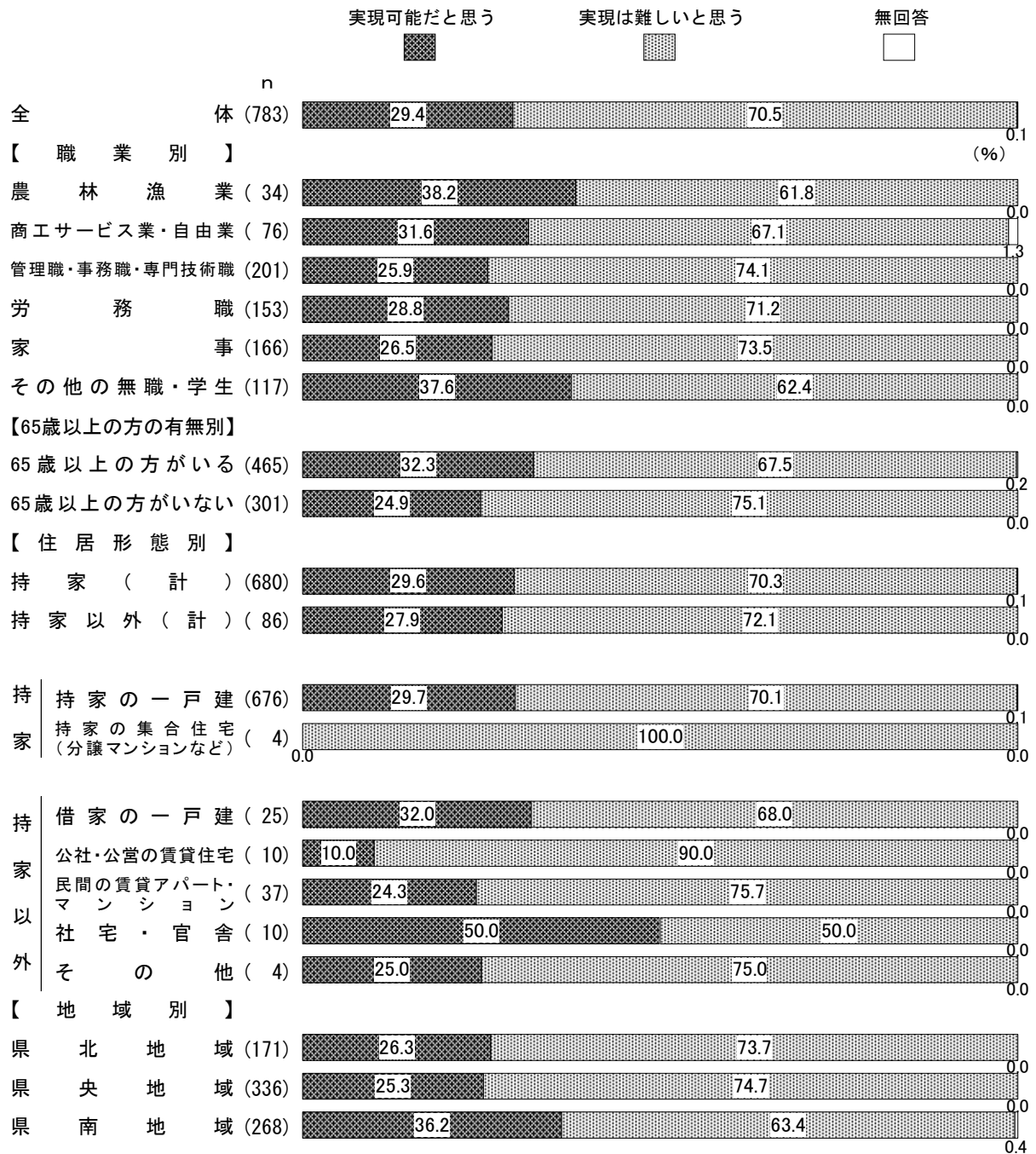
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「実現可能だと思う」では〈男性〉(34.2%)が〈女性〉(24.4%)より9.8ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「実現可能だと思う」では〈男性20歳代〉が46.7%と高くなっている。「実現は難しいと思う」では〈女性50歳代〉が81.8%、〈女性40歳代〉が80.6%と高くなっている。

[職業別・65歳以上の方の有無別・住居形態別・地域別]



職業別でみると、「実現可能だと思う」では〈農林漁業〉が38.2%、〈その他の無職・学生〉が37.6%と高くなっている。

65歳以上の方の有無別でみると、「実現可能だと思う」では〈65歳以上の方がいる〉(32.3%)が〈65歳以上の方がいない〉(24.9%)より7.4ポイント高くなっている。

住居形態別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

地域別でみると、「実現可能だと思う」では〈県南地域〉が36.2%と高くなっている。

(1-1-1) 自宅療養が難しい理由

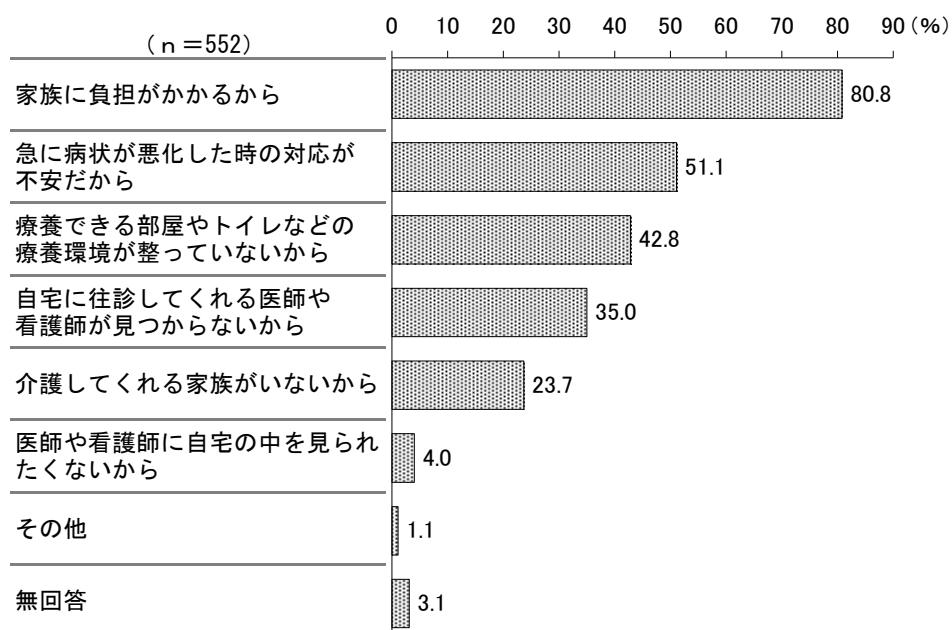
(問24-1で選択肢「実現は難しいと思う」を選んだ方のみお答えください)

問24-1-1 自宅での療養が難しいと思う理由は何ですか。

次の中から3つまで選んでください。

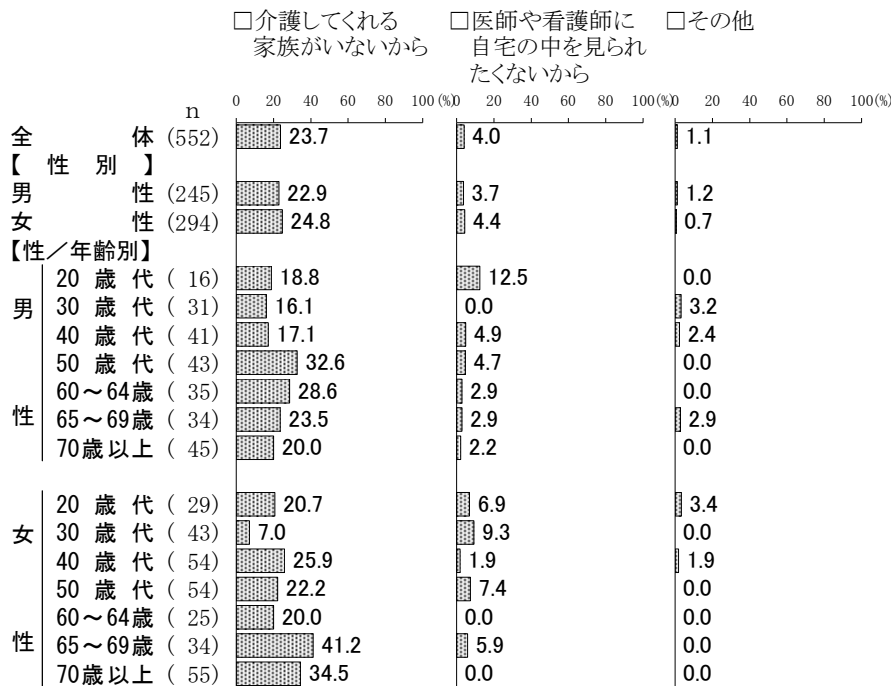
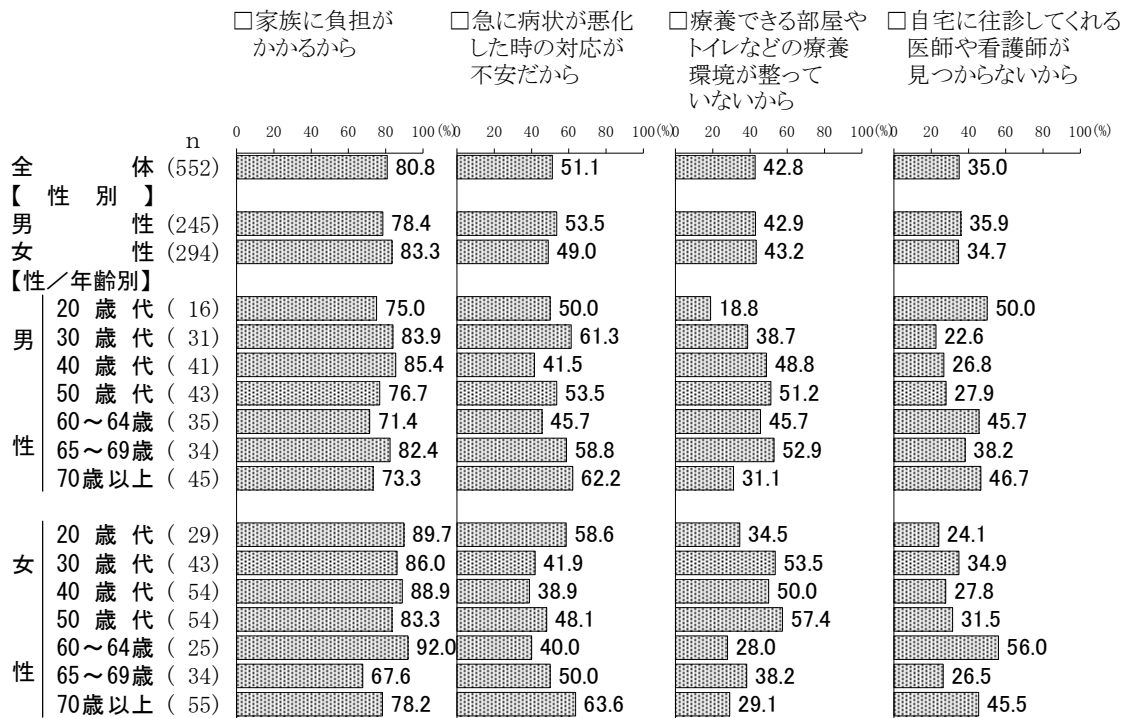
[n=552]

1 急に病状が悪化した時の対応が不安だから	51.1%
2 家族に負担がかかるから	80.8
3 療養できる部屋やトイレなどの療養環境が整っていないから	42.8
4 自宅に往診してくれる医師や看護師が見つからないから	35.0
5 介護してくれる家族がいないから	23.7
6 医師や看護師に自宅の中を見られたくないから	4.0
7 その他	1.1
(無回答)	3.1



全体で見ると、「家族に負担がかかるから」(80.8%)がほぼ8割で最も高く、次いで「急に病状が悪化した時の対応が不安だから」(51.1%)、「療養できる部屋やトイレなどの療養環境が整っていないから」(42.8%)、「自宅に往診してくれる医師や看護師が見つからないから」(35.0%)、「介護してくれる家族がいないから」(23.7%)の順となっている。

[性別・性／年齢別]

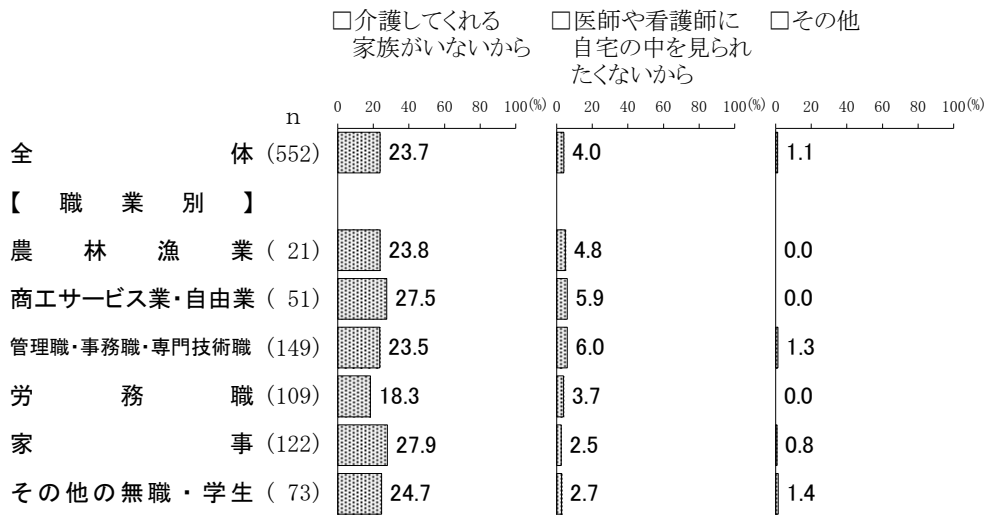
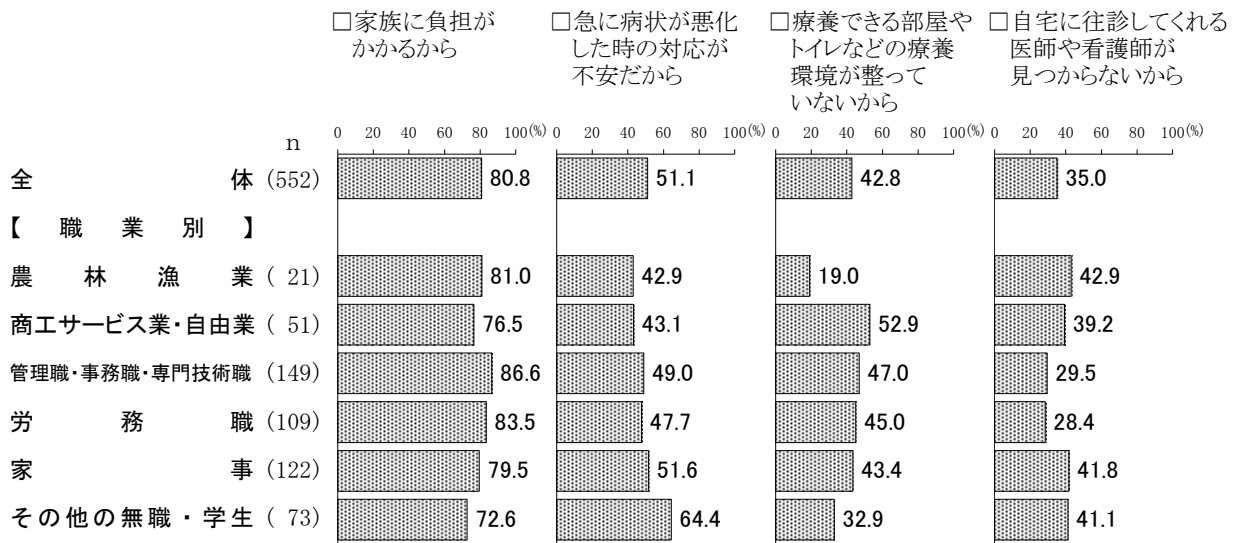


性別で見ると、「家族に負担がかかるから」では〈女性〉(83.3%)が〈男性〉(78.4%)より4.9ポイント高くなっている。「急に病状が悪化した時の対応が不安だから」では〈男性〉(53.5%)が〈女性〉(49.0%)より4.5ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「家族に負担がかかるから」では〈女性60~64歳〉が92.0%と高くなっている。「療養できる部屋やトイレなどの療養環境が整っていないから」では〈女性50歳代〉が57.4%と高くなっている。「自宅に往診してくれる医師や看護師が見つからないから」では〈女性60~64歳〉が56.0%と高くなっている。



[職業別]



職業別でみると、「家族に負担がかかるから」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が86.6%と高くなっている。「急に病状が悪化した時の対応が不安だから」では〈その他の無職・学生〉が64.4%と高くなっている。「療養できる部屋やトイレなどの療養環境が整っていないから」では〈商工サービス業・自由業〉が52.9%と高くなっている。

## (1-2) 自宅療養を希望しない理由

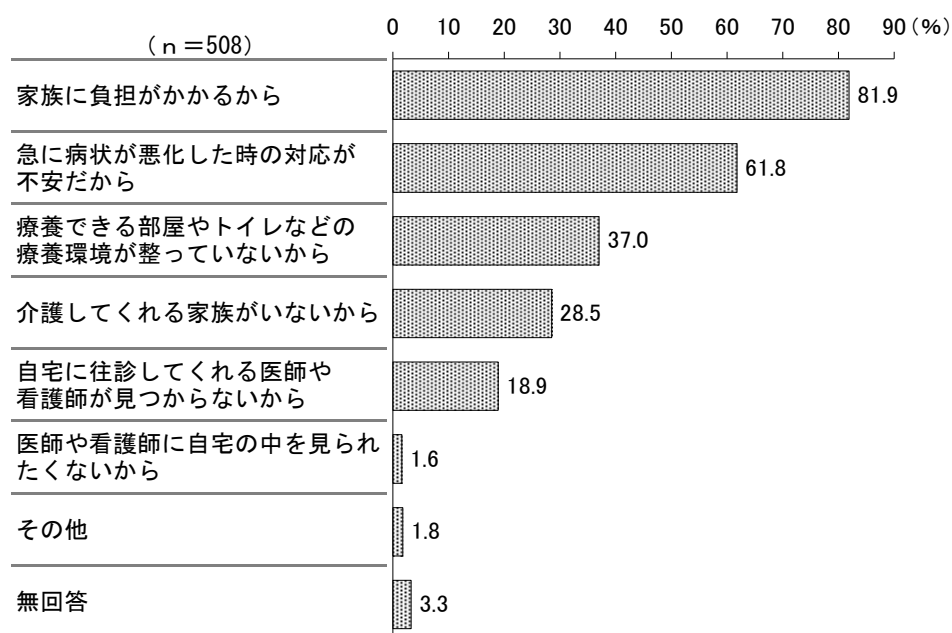
(問24で選択肢「そう思わない」を選んだ方のみお答えください)

問24-2 自宅での療養を希望しない理由は何ですか。

次の中から3つまで選んでください。

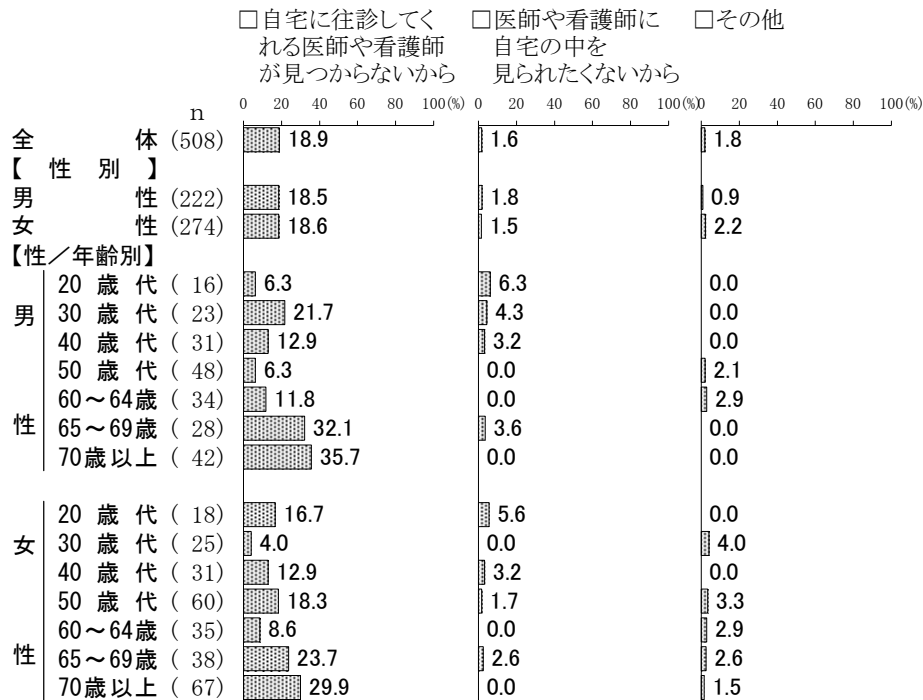
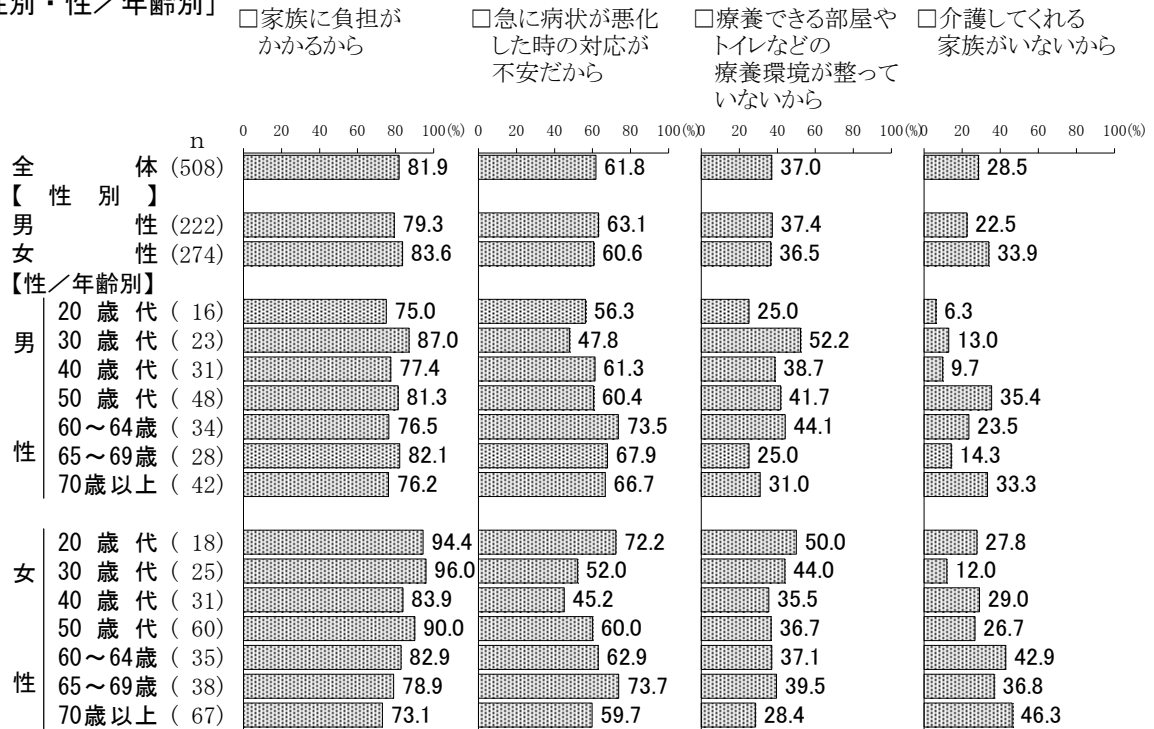
[n=508]

1 急に病状が悪化した時の対応が不安だから	61.8%
2 家族に負担がかかるから	81.9
3 療養できる部屋やトイレなどの療養環境が整っていないから	37.0
4 自宅に往診してくれる医師や看護師が見つからないから	18.9
5 介護してくれる家族がないから	28.5
6 医師や看護師に自宅の中を見られたくないから	1.6
7 その他	1.8
(無回答)	3.3



全体でみると、「家族に負担がかかるから」(81.9%)が8割を超えて最も高く、次いで「急に病状が悪化した時の対応が不安だから」(61.8%)、「療養できる部屋やトイレなどの療養環境が整っていないから」(37.0%)、「介護してくれる家族がないから」(28.5%)、「自宅に往診してくれる医師や看護師が見つからないから」(18.9%)の順となっている。

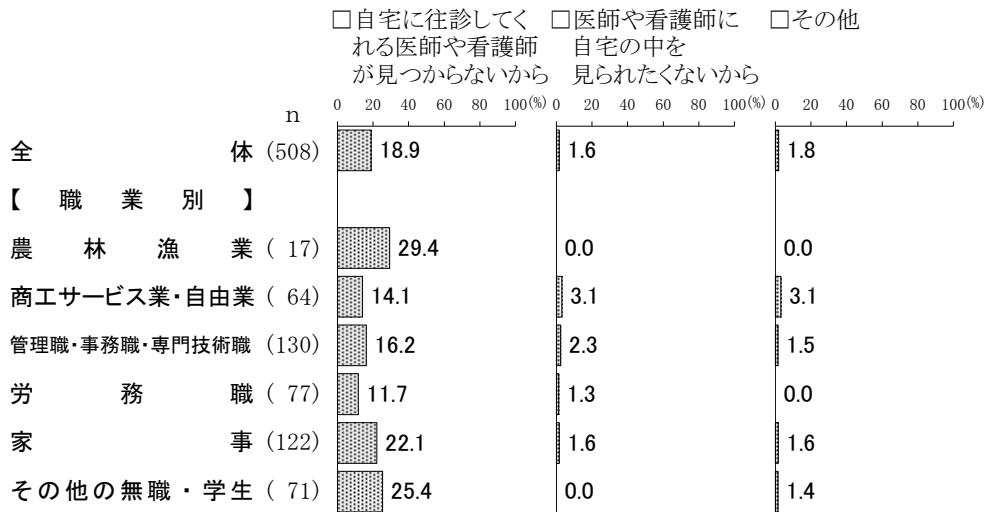
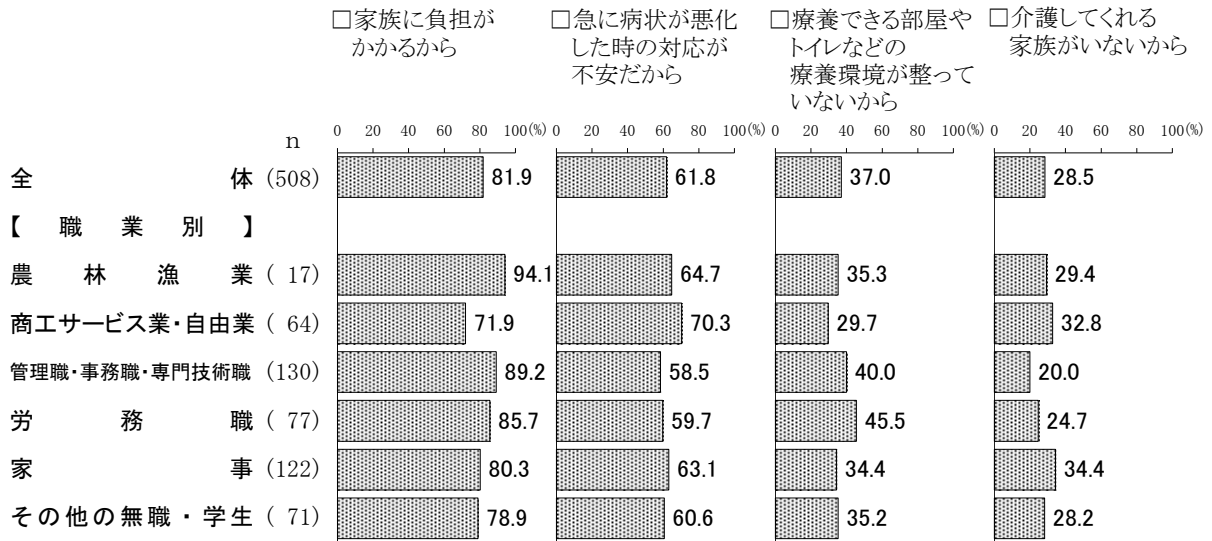
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「介護してくれる家族がいないから」では〈女性〉(33.9%)が〈男性〉(22.5%)より11.4ポイント高くなっている。「家族に負担がかかるから」では〈女性〉(83.6%)が〈男性〉(79.3%)より4.3ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「家族に負担がかかるから」では〈女性30歳代〉が96.0%、〈女性20歳代〉が94.4%と高くなっている。「介護してくれる家族がいないから」では〈女性70歳以上〉が46.3%と高くなっている。「自宅に往診してくれる医師や看護師が見つからないから」では〈男性70歳以上〉が35.7%と高くなっている。

[職業別]



職業別でみると、「家族に負担がかかるから」では〈農林漁業〉が94.1%、〈管理職・事務職・専門技術職〉が89.2%と高くなっている。「急に病状が悪化した時の対応が不安だから」では〈商工サービス業・自由業〉が70.3%と高くなっている。「療養できる部屋やトイレなどの療養環境が整っていないから」では〈労務職〉が45.5%と高くなっている。

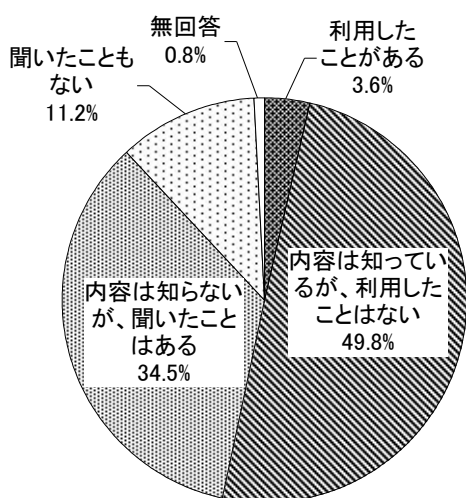
## (2) 訪問診療サービスの認知度

問25 在宅医療を支える仕組みのひとつに「訪問診療(※)」がありますが、あなたはこのサービスを知っていますか。次の中から1つ選んでください。

※ 「訪問診療」とは、通院が困難な患者の自宅等を医師が定期的に訪問して行う医療サービスのことです。

[n=1,316]

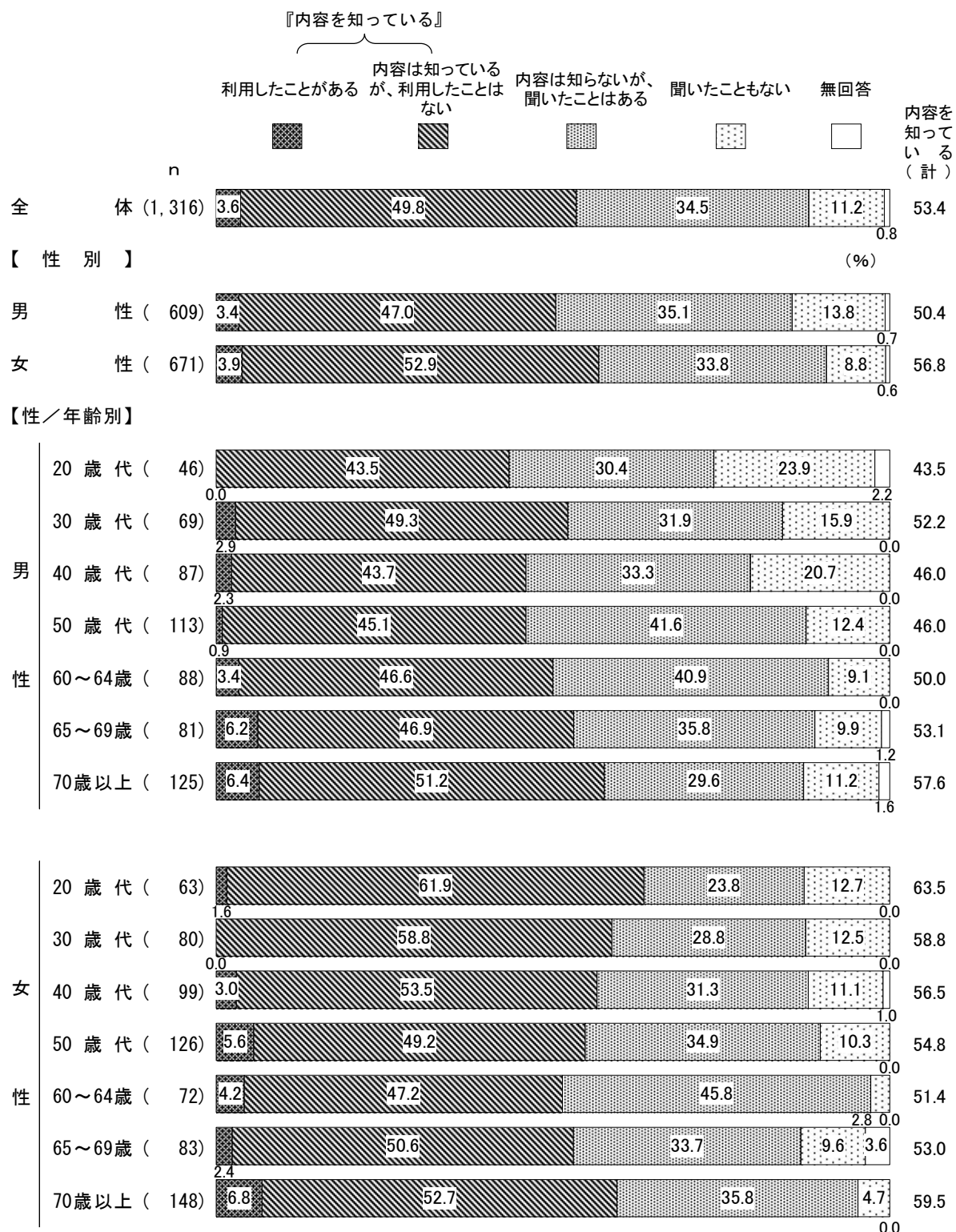
1	利用したことがある	3.6%
2	内容は知っているが、利用したことはない	49.8
3	内容は知らないが、聞いたことはある	34.5
4	聞いたこともない	11.2
	(無回答)	0.8



(n=1,316)

全体で見ると、「利用したことがある」(3.6%)と「内容は知っているが、利用したことはない」(49.8%)の2つを合わせた『内容を知っている』(53.4%)は5割を超えている。「内容は知らないが、聞いたことはある」(34.5%)は3割半ば、「聞いたこともない」(11.2%)は1割を超えている。

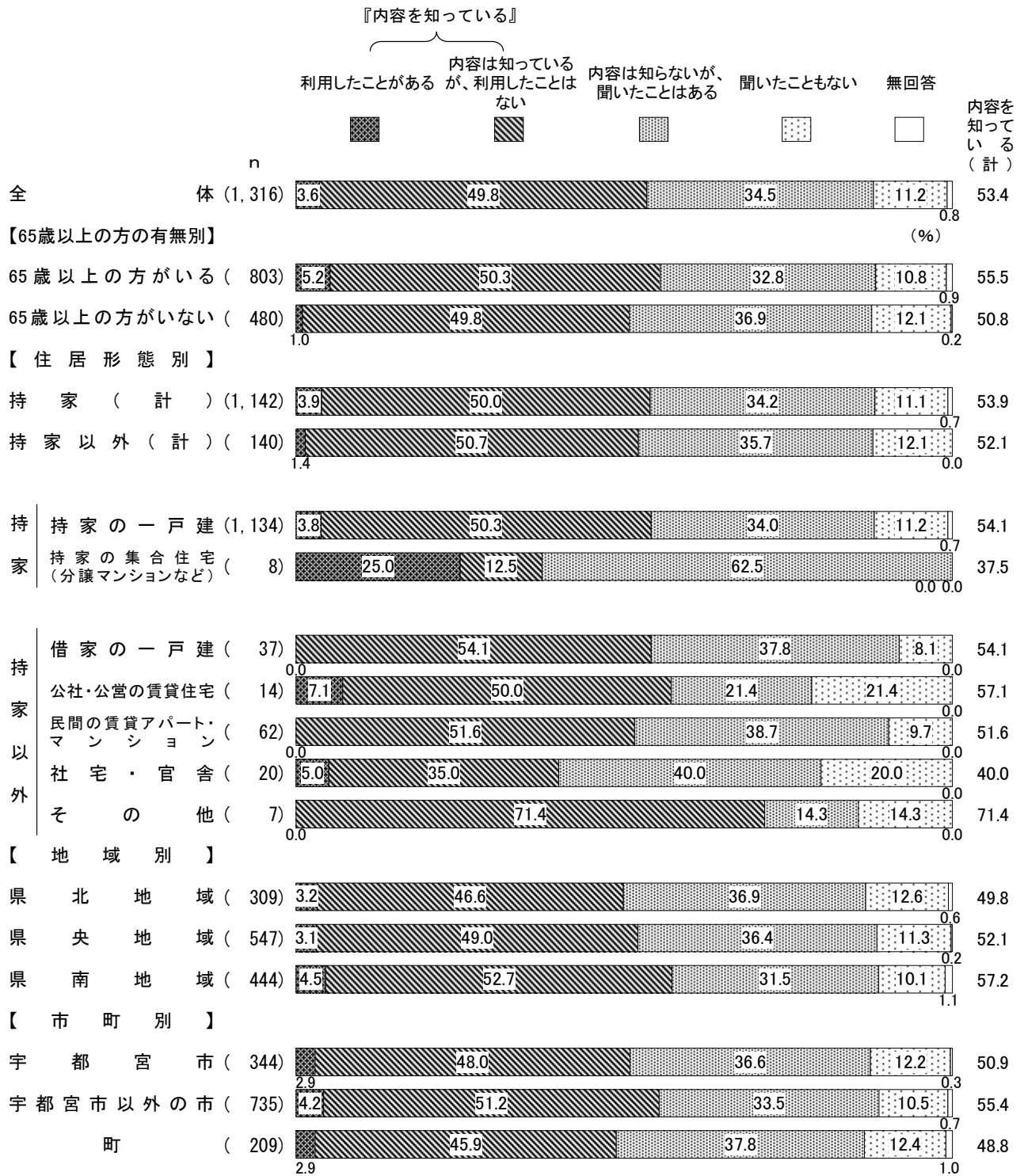
[性別・性／年齢別]



性別でみると、『内容を知っている』では〈女性〉(56.8%)が〈男性〉(50.4%)より6.4ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、『内容を知っている』では〈女性20歳代〉が63.5%と高くなっている。

[65歳以上の方の有無別・住居形態別・地域別・市町別]



65歳以上の方の有無別でみると、『内容を知っている』では〈65歳以上の方がいる〉(55.5%)が〈65歳以上の方がいない〉(50.8%)より4.7ポイント高くなっている。

住居形態別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

地域別でみると、『内容を知っている』では〈県南地域〉が57.2%と高くなっている。

市町別でみると、『内容を知っている』では〈宇都宮市以外の市〉が55.4%と高くなっている。

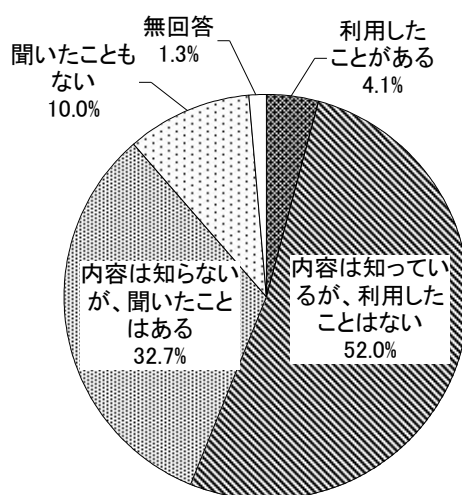
### (3) 訪問看護サービスの認知度

問26 在宅医療を支える仕組みのひとつに「訪問看護（※）」がありますが、あなたはこのサービスを知っていますか。次の中から1つ選んでください。

※ 「訪問看護」とは、看護師が医師の指示を受け、患者の自宅等を訪問して行う看護サービスのことです。

[n=1,316]

1 利用したことがある	4.1%
2 内容は知っているが、利用したことはない	52.0
3 内容は知らないが、聞いたことはある	32.7
4 聞いたこともない	10.0
(無回答)	1.3

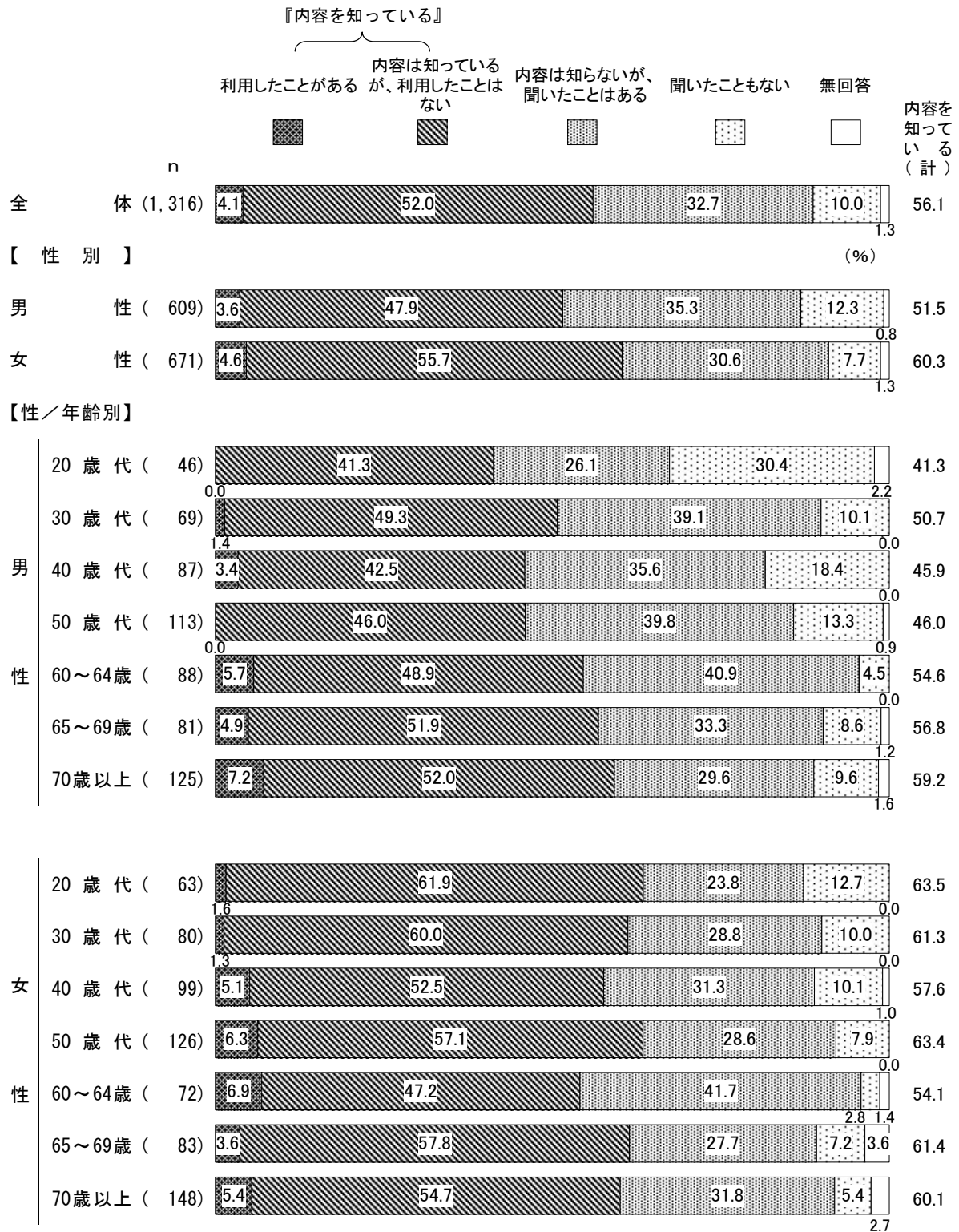


(n=1,316)

全体で見ると、「利用したことがある」(4.1%)と「内容は知っているが、利用したことはない」(52.0%)の2つを合わせた『内容を知っている』(56.1%)は5割半ばとなっている。「内容は知らないが、聞いたことはある」(32.7%)は3割を超え、「聞いたこともない」(10.0%)は1割となっている。



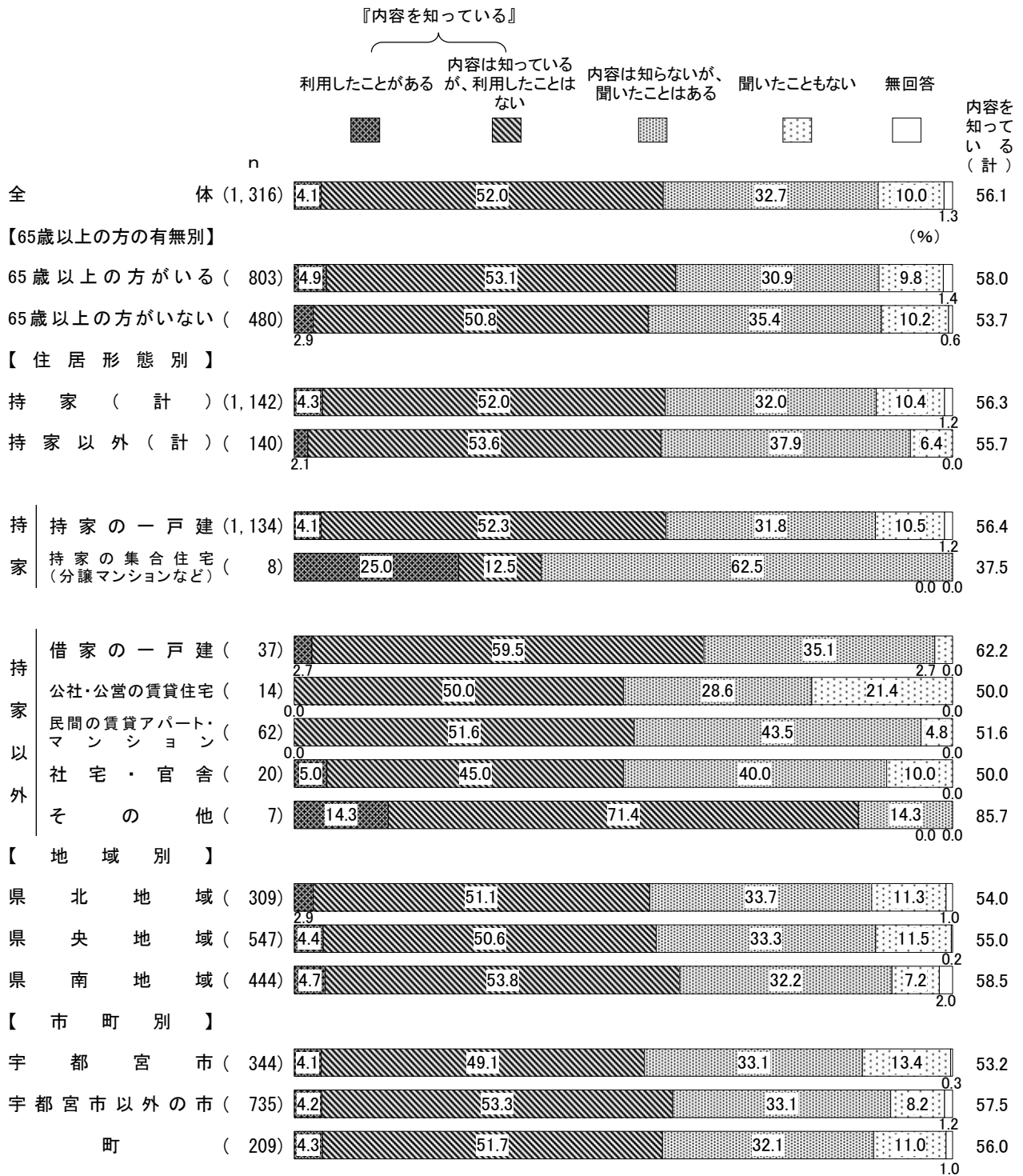
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、『内容を知っている』では〈女性〉(60.3%)が〈男性〉(51.5%)より8.8ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、『内容を知っている』では〈女性20歳代〉が63.5%、〈女性50歳代〉が63.4%と高くなっている。

[65歳以上の方の有無別・住居形態別・地域別・市町別]



65歳以上の方の有無別でみると、『内容を知っている』では〈65歳以上の方がいる〉(58.0%)が〈65歳以上の方がいない〉(53.7%)より4.3ポイント高くなっている。

住居形態別でみると、「内容は知らないが、聞いたことはある」では〈持家以外(計)〉(37.9%)が〈持家(計)〉(32.0%)より5.9ポイント高くなっている。

地域別でみると、『内容を知っている』では〈県南地域〉が58.5%と高くなっている。

市町別でみると、『内容を知っている』では〈宇都宮市以外の市〉が57.5%、〈町〉が56.0%となっており、〈宇都宮市〉(53.2%)に比べて高くなっている。